

ゼミ活動報告 「2017年 第5回宮門会」

氏名 吉村綾香

11月11日土曜日に第5回宮門会が開催されました。1から4期生までのOB・OGの方々が東京・名古屋・広島...と全国各地から駆けつけてくださり、とても賑やかな会となりました。宮門会を開催して下さった宮川先生、遠方から足を運んで下さった先輩方、幹事をしてくれた5期生ゼミ長、本当にありがとうございました。

宮門会は二部構成で行われました。第一部は特別ゼミです。これはOB・OGの方々の提案で昨年からスタートした企画であり、今年でまだ2回目ですが、まるで宮門会の恒例企画のように盛り上がりました。内容は現役生が現在行っている研究をプレゼンテーション形式で発表し、先輩方から感想やアドバイスをいただくというものです。今回は6期生がCoreの研究についてプレゼンを行いました。2チームそれぞれが理論と現象という全く異なるアプローチでの研究だった為、先輩方から様々な意見やアドバイスが飛び交いました。私は昨年5期生としてプレゼンを行う側であり、今年は6期生の研究を間近で見えたため、去年は緊張していて所々覚えてないなあ、先輩方がこれだけいたら迫力あるよなあ、などと思いつつ少し懐かしくなりました。そんな中で、宮門会で初めて顔を合わせ



る先輩方から親身かつたくさんアドバイスをいただけるのは、1期生から代々受け継がれたゼミの雰囲気と先輩方のゼミに対する愛情があってこそだと改めて実感しました。

第二部はメインの宮門会です！美味しい中華とお酒を片手に先輩後輩関係なく大いに盛り上がりました。近々結婚される方など先輩方の近況報告や、現役生の自己紹介などが行われました。

その中でも、先生からの「ゼミがみんなのサードプレイスになってほしい」というお話と、1期生のようへいさんの「社会人は皆底辺から始まる」というお話が印象的でした。私は来年から社会人になることに対して不安もあったのですが、

お二方の話を聞いて気が引き締まるとともに社会人になっても帰る場所があるという安心感でいっぱいになりました。



宮川ゼミの良いところは、このように横だけでなく縦のつながりが深いところです。宮門会でなくても普段のゼミに仕事の休みを合わせて顔を出して下さる先輩がいたり、こっそり先生の授業に忍び込んでいる先輩がいたり、

お忙しいにも関わらず後輩の相談に全力で乗って下さる先輩がいたり…。先生と先輩方が作り上げてきたこの宮川ゼミのアットホームでまるで家族のような雰囲気、これから新しく入ってくる後輩にも受け継いでいってもらえれば嬉しいと思います。このゼミの雰囲気に感極まってしまうというハプニングもありながら、最後にみんなで円陣を組んで「負けないで」を熱唱し、宮門会は終了しました。

来年はOGとして宮門会に参加できること、とても楽しみにしています！

